



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月22日

上場会社名 石塚硝子株式会社

上場取引所 東証・名証第一部

コード番号 5204 URL <http://www.ishizuka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 久継

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部財務部長 (氏名) 北山 聡 (TEL) (0587) 37-2111

四半期報告書提出予定日 平成28年7月29日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年3月21日～平成28年6月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	18,966	△2.9	793	△13.0	251	△69.3	70	△82.0
28年3月期第1四半期	19,524	26.9	911	80.4	818	97.0	389	203.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 460百万円 (△60.8%) 28年3月期第1四半期 1,176百万円 (177.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	2 00	—
28年3月期第1四半期	11 13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	81,848	21,247	22.8	532 84
28年3月期	80,504	20,916	22.7	522 52

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 18,657百万円 28年3月期 18,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	3 00	3 00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3 00	3 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年3月21日～平成29年3月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,000	△1.5	1,100	△23.5	850	△24.4	450	△10.9	12 85
通期	74,000	0.8	1,600	△46.2	1,100	△40.4	500	△24.2	14 28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	36,295,543株	28年3月期	36,295,543株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,281,139株	28年3月期	1,280,829株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	35,014,509株	28年3月期1Q	35,019,266株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や個人消費が力強さに欠け、景気回復は不透明な状況で推移しました。また、英国のEU離脱決定などもあり、先行きは依然として不透明な状況が見込まれます。

このような状況のなか、当社グループは、当期を初年度とする中期経営計画（第82期～第84期）『Next Stage ISHIZUKA 84』をスタートさせました。この中期経営計画は、「グループ総合力の結集」をコンセプトとし、営業利益の安定的確保・有利子負債の削減・グループを横断した機能強化の達成に向け取り組んでおります。

売上高につきましては、PETボトル用プリフォームが伸張しましたが、ハウスウェア及び紙容器の売上が減少し、グループ全体の売上高は18,966百万円（前年同四半期比2.9%減）となりました。利益につきましては、売上高の減少とガラスびんの生産体制の再編による稼働率低下の影響などにより、営業利益は793百万円（前年同四半期比13.0%減）となりました。また、為替相場の変動に伴う外貨建債権債務に関する為替差損の計上もあり、経常利益は251百万円（前年同四半期比69.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は70百万円（前年同四半期比82.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

ガラスびん関連

ガラスびんは、飲料水びんが出荷を伸ばしましたが、昨年のテレビドラマ効果で好調だったウイスキーびんの出荷が減少したこともあり、売上高は4,620百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

ハウスウェア関連

ガラス食器は、企業向け景品受注が減少したことにより売上高が減少しました。陶磁器は、国内事業は堅調でしたが、海外事業のホテル・レストラン向けなどの受注が減少し、セグメント全体の売上高は4,216百万円（前年同四半期比12.9%減）となりました。

紙容器関連

紙容器は、出荷数量が全体的に伸び悩むなか、小型カートン用充填機の販売もなかったことにより、売上高は1,961百万円（前年同四半期比10.7%減）となりました。

プラスチック容器関連

プラスチック容器は、前期に立ち上げた新ラインが年初からフル稼働し、需要の増加に対応できたことに加え、主要ユーザーにおいて新製品の販売が好調だったことにより、売上高は6,749百万円（前年同四半期比4.9%増）となりました。

産業器材関連

産業器材は、IHクッキングヒーター向けトッププレートの受注が減少したことにより、売上高は475百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。

その他

抗菌剤は、欧州及び米国では販売が順調に拡大していますが、昨年の一部地域での採用拡大に伴う大口受注の反動により、売上高は減少しました。一方、金属キャップなどの製品は出荷を伸ばし、売上高は943百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成28年4月25日公表の「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更により損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,923	4,130
受取手形及び売掛金	12,552	13,350
有価証券	100	—
商品及び製品	12,419	12,060
仕掛品	948	906
原材料及び貯蔵品	4,854	4,694
その他	1,560	1,547
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	36,354	36,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,026	7,930
機械装置及び運搬具(純額)	7,661	7,382
土地	15,784	15,784
その他(純額)	4,861	5,725
有形固定資産合計	36,333	36,823
無形固定資産	350	327
投資その他の資産		
投資有価証券	6,343	6,398
その他	1,079	1,579
貸倒引当金	△22	△27
投資その他の資産合計	7,400	7,950
固定資産合計	44,083	45,102
繰延資産	66	58
資産合計	80,504	81,848

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,522	7,758
短期借入金	14,770	14,679
1年内償還予定の社債	933	1,358
未払法人税等	705	158
賞与引当金	722	321
関係会社整理損失引当金	27	26
その他	6,104	7,127
流動負債合計	29,785	31,429
固定負債		
社債	2,752	2,111
長期借入金	13,347	13,375
役員退職慰労引当金	62	63
汚染負荷量引当金	428	420
厚生年金基金解散損失引当金	8	8
退職給付に係る負債	6,190	6,148
その他	7,012	7,042
固定負債合計	29,802	29,170
負債合計	59,588	60,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,911	5,911
資本剰余金	4,149	4,149
利益剰余金	2,142	2,107
自己株式	△287	△288
株主資本合計	11,915	11,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,086	2,201
繰延ヘッジ損益	△111	△146
土地再評価差額金	5,201	5,338
為替換算調整勘定	62	209
退職給付に係る調整累計額	△859	△825
その他の包括利益累計額合計	6,380	6,777
非支配株主持分	2,620	2,590
純資産合計	20,916	21,247
負債純資産合計	80,504	81,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年6月20日)
売上高	19,524	18,966
売上原価	15,597	15,113
売上総利益	3,926	3,852
販売費及び一般管理費	3,014	3,059
営業利益	911	793
営業外収益		
受取利息	4	0
受取配当金	17	20
受取賃貸料	39	37
その他	81	70
営業外収益合計	143	130
営業外費用		
支払利息	137	119
為替差損	—	337
デリバティブ評価損	—	146
その他	98	68
営業外費用合計	236	671
経常利益	818	251
特別損失		
関係会社整理損	13	—
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	8	—
固定資産除却損	—	41
特別損失合計	22	41
税金等調整前四半期純利益	796	210
法人税、住民税及び事業税	96	126
法人税等調整額	246	△32
法人税等合計	342	93
四半期純利益	453	116
非支配株主に帰属する四半期純利益	63	46
親会社株主に帰属する四半期純利益	389	70

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月21日 至 平成27年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年3月21日 至 平成28年6月20日)
四半期純利益	453	116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	468	60
繰延ヘッジ損益	18	△33
為替換算調整勘定	△47	146
土地再評価差額金	282	136
退職給付に係る調整額	0	33
その他の包括利益合計	722	343
四半期包括利益	1,176	460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,034	466
非支配株主に係る四半期包括利益	141	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年3月21日 至 平成27年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	ガラス びん関連	ハウスウ ェア関連	紙容器 関連	プラスチ ック容器 関連	産業器材 関連	計				
売上高										
外部顧客への売上高	4,662	4,842	2,196	6,436	492	18,629	894	19,524	—	19,524
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	—	188	—	194	1,465	1,660	△1,660	—
計	4,662	4,847	2,196	6,625	492	18,824	2,360	21,184	△1,660	19,524
セグメント利益	19	179	81	485	50	816	96	913	△1	911

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1百万円には、セグメント間取引消去0百万円、たな卸資産の調整額△1百万円、その他△0百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年3月21日 至 平成28年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	ガラス びん関連	ハウスウ ェア関連	紙容器 関連	プラスチ ック容器 関連	産業器材 関連	計				
売上高										
外部顧客への売上高	4,620	4,216	1,961	6,749	475	18,023	943	18,966	—	18,966
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	5	—	181	—	187	1,461	1,649	△1,649	—
計	4,620	4,222	1,961	6,931	475	18,210	2,404	20,615	△1,649	18,966
セグメント利益	16	118	28	562	2	727	67	795	△2	793

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2百万円には、たな卸資産の調整額△2百万円、その他0百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。